

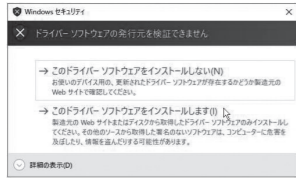
# スタートアップガイド

Windows10(32bit/64bit)搭載パソコンへの  
G-Trace.net のインストール手順

G-MEN DR01 / DR20 / DR100 対応

G-Trace.netのインストールは、必ず本書の手順に従って行なってください。  
本書以外の手順では正常にインストールできない場合があります。

- 注意1.全てのWindows10(32bit/64bit)搭載のパソコンの動作は保証できません。
- 注意2.Windows7、Windows8(32bit/64bit)搭載パソコンへのG-Trace.netのインストールは可能です。但し、全てのWindows7、Windows8(32bit/64bit)搭載のパソコンの動作は保証できません。
- 注意3.ネットワーク接続されセキュリティ管理されたパソコンへはインストール出来ない場合があります。社内ネットワーク管理者にご相談ください。
- 注意4.Windows10はセキュリティが厳しく左記の「ドライバーソフトウェアの発行元を検証できません」の警告が表示される場合があります。「このドライバーソフトウェアをインストールする」を選択できない場合はG-Trace.netは、ご使用になれません。

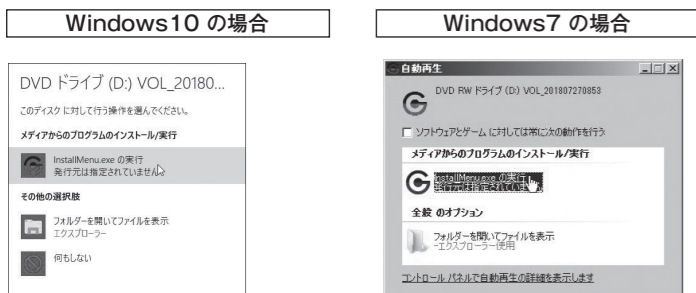


## ソフトウェアをインストールする

※注意!インストールは、必ず本機とパソコンを接続する前に行ってください。

### 1 CD-ROMドライブに「G-Trace.net」を入れる

### 2 インストールメニューの実行



「InstallMenu.exeの実行」を選択します

「InstallMenu.exeの実行」を選択します



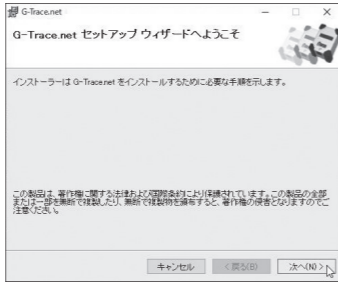
G-Trace.net Install Applicationの画面が表示されたら「インストール」を選択します

### 3 G-Trace.netのインストール



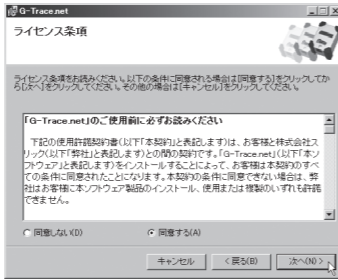
しばらく時間がかかります

### 4 「G-Trace.net」セットアップウィザード



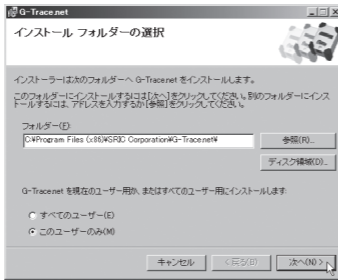
「次へ(N)」を選択します

### 5 ライセンス条項



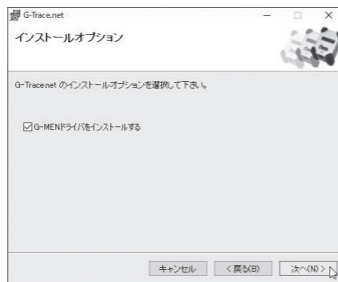
ライセンス条項の内容を確認し、同意いただける場合には「同意する」を選択し、「次へ(N)」を選択します

### 6 インストール先のフォルダを選択



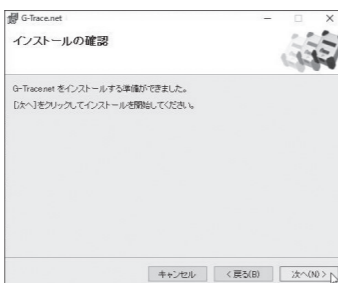
G-Trace.net をインストールするフォルダを選択します  
G-Trace.net を使用するユーザーを選択します  
「次へ(N)」を選択します

### 7 インストールオプション

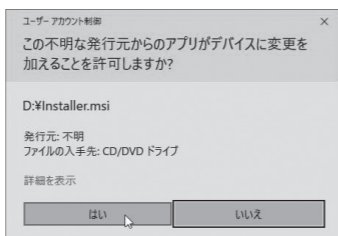


「次へ(N)」を選択します

### 8 インストールの確認

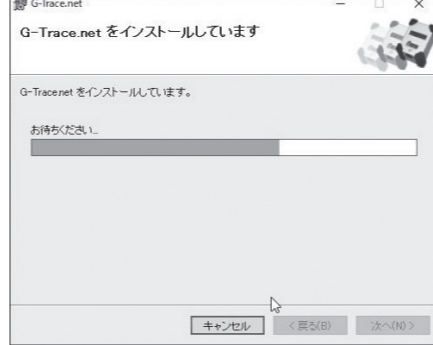


「次へ(N)」を選択します



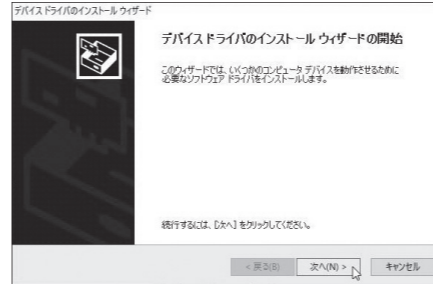
「ユーザーアカウント制御」が表示されます「この不明な発行元からのアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか?」  
「はい(Y)」を選択します

### 9 「G-Trace.net」をインストール



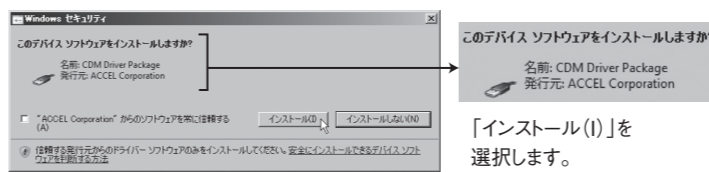
「G-Trace.net」をインストールしています

### 10 デバイスドライバーのインストールウィザードの開始



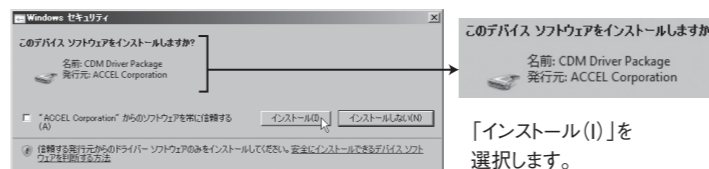
「次へ(N)」を選択します

### 11 デバイスドライバーのインストールウィザード



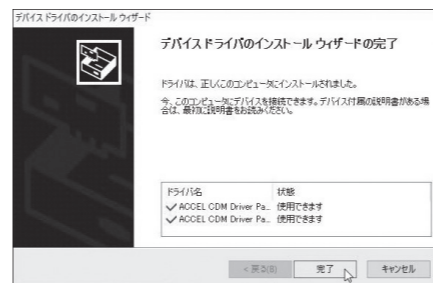
「インストール(I)」を選択します。

### 12 デバイスドライバーのインストールウィザード



「インストール(I)」を選択します。

### 13 デバイスドライバーのインストールウィザードの完了



「完了」を選択します

### 14 インストールの完了



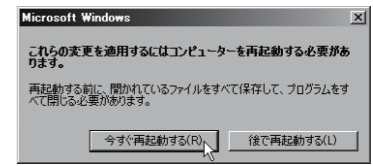
「閉じる」を選択します

### 15 インストール画面を閉じる



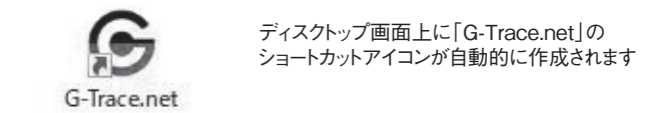
画面右上の「×」を選択します

### 16 コンピューターの再起動

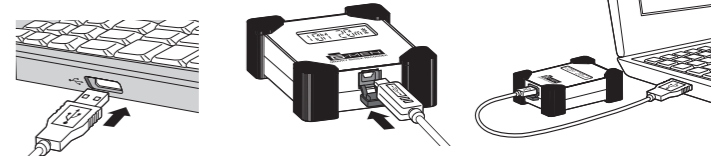


「今すぐ再起動する(R)」を選択する

### 17 ショートカットアイコンの確認

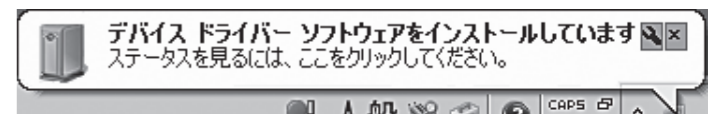


### 18 パソコンと本体を接続します。 ※USB2.0を推奨

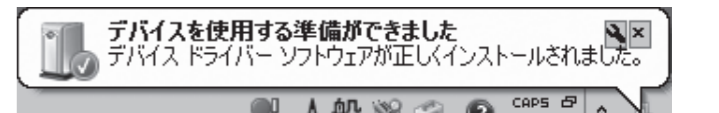


本体のUSBコネクタとパソコンのUSBポート(USB3.0)を付属のUSBケーブルで接続します

### 19 デバイスドライバーの自動インストール



デスクトップ画面右下にポップアップが表示されます



正しくインストールされてから使用できます

注 意!

※ポップアップが表示されない場合があります

※左画面は通常表示されていません。

USB Serial Port (COM※)  
時間がかかります

USB Serial Converter  
時間がかかります

※デバイスドライバーソフトウェアのインストールは「USB Serial Port (COM※)」と「USB Serial Converter」がインストールされます  
※デバイスドライバーソフトウェアのインストールはパソコンの機種によっては時間がかかります  
※インストール途中での中止やUSBケーブルを抜く行為は、デバイスドライバーが正しくインストールされない為、G-MENとの接続が正常に行えません

# はじめてつかうG-Trace.net

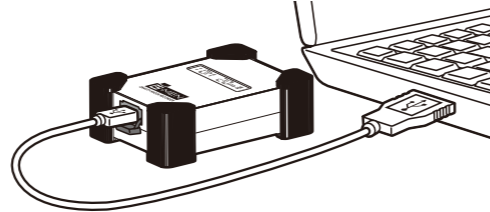
## G-Trace.net

(G-MEN DR01・DR20・DR100対応)

### 第1章 G-Trace.netとG-MEN

#### 1 起動と接続

G-Trace.netの起動とG-MEN との接続



G-MENとの接続は、G-Trace.netの起動後でも起動前でもどちらでも構いません。

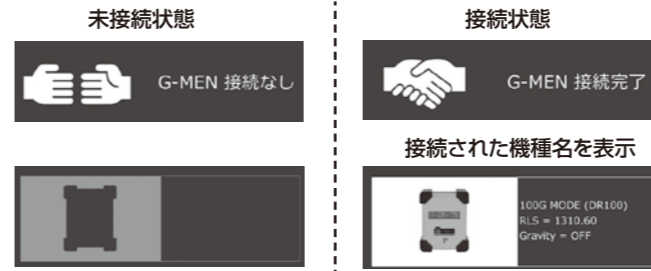
スタートメニューからG-Trace.netを選択、またはデスクトップ上のショートカットアイコンのクリックにより、G-Trace.netを起動します。



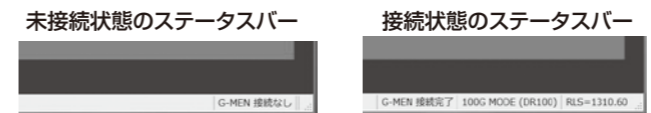
(スタートメニュー画面)

G-MEN を接続するとG-Trace.netは現在のG-MEN 接続状態を、スタートメニュー/データ表示画面のどちらにおいても、接続の有無を表示しています。

#### スタートメニュー画面



#### データ表示画面



スタートメニューの画面のステータスバーにも同様に表示され機種と接続状態本体RLS番号が表示されます。  
G-MEN本体の液晶には【CoNNECTd】と表示されます。  
G-MENとパソコンの接続の確認が出来ない場合  
G-MEN本体とUSBケーブルを再度抜き差しする。それでも確認が出来ない時は、USBドライバのインストールが失敗している可能性があります。

#### 2 複数のG-MENとの接続

G-Trace.netは複数のG-MENと同時に接続はできません。複数のUSBポートを持つパソコンにG-MENを複数接続しても1台のコンピュータに対し1台のG-MENの認識になります。

### 第2章 G-MEN で振動を計測してみよう

簡単な計測をしてみましょう。  
第一章でG-MENはG-Trace.netで接続の確認がとれましたか。

#### 計測のながれ

- 1 G-MENに計測条件を設定する
- 2 G-MENの計測を開始する。
- 3 G-MENに振動を加える。
- 4 G-MENの記録データを取得する。
- 5 G-MENの取得データを保存する。



#### 1 G-MENに計測条件を設定

ここでは出荷時の設定を利用します。  
G-MENを付属USBケーブルでPCと接続します。  
G-MENがPCで認識されるとG-MEN接続完了と表示されます。

画面左下の【G-MENの設定を変更】をクリックします。

#### G-MENの設定を変更

#### 第1章 G-Trace.net とG-MEN

- 1 起動と接続
- 2 複数のG-MEN との接続

#### 第2章 G-MEN で振動を計測してみよう

- 1 G-MEN に計測条件を設定
- 2 G-MEN の計測を開始
- 3 G-MEN に振動を加える
- 4 G-MEN の記録データを取得
- 5 G-MEN の取得データを保存

G-Trace.net のユーザーズマニュアルは、ソフト上のヘルプをご利用いただくようお願いいたします。

ここでは簡単にG-MEN の計測をG-Trace.net よりどのように設定するか記載しております。

クリックすると下記画面が表示されます。この画面ではG-MENの計測条件を任意に設定ができます。ここではテンプレートの初期設定を利用します。テンプレートの初期設定をクリックしてください。クリックすると下面の計測条件の項目が表示されます。

- 本体番号 [1]
- サンプリング [0.01秒]
- 応答周波数 [100Hz]
- 記録間隔 [1秒]
- しきい値 [0.0G]
- ハザード [0.0G]
- しきい値超検出 [OFF]
- エンドレス記録 [OFF]
- 開始オプション [5]秒
- 液晶表示オプション [00]



上記の設定では、G-MENは測定開始を実行すると、開始オプション5秒後から始動し1秒で1データ記録します。内容は記録間隔1秒間の中で10msecごとにサンプリング計測した100個のデータ中で、X・Y・Z軸のそれぞれのピークG値を記録し、温度・湿度も記録します。

条件を変更するには各項目の一覧ボタンまたは各項目の▲▼で数値を指定します。  
条件設定が完了したら画面右したの【OK】ボタンをクリックしてスタートメニュー画面に戻ります。  
スタートメニュー画面で設定した計測条件が反映しているか確認してください。

計測条件の画面では、計測したい内容により色々な設定の組み合わせになります。詳しくはヘルプをご参照ください。

#### 2 G-MENの計測を開始

スタートメニューの画面より即時測定と予約測定開始が選択できます。即時測定の場合スタートメニューの下記ボタンをクリック



即時測定開始確認ダイアログが表示されますので【OK】をクリックします。

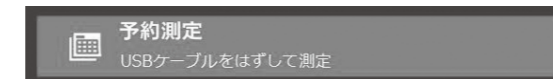


次に「G-MENケーブルを外してください。」とダイアログが表示されますので、【OK】をクリックし、G-MEN側のUSBケーブルを外してください。

ケーブルを外すとG-MENは開始オプションで指定した5秒後から測定を始めます。

G-MEN 本体の液晶ではケーブルを抜くと【WAIT 05】からカウントダウンをして、【1S 10m】と【23.0C 32rh】の【記録間隔・サンプリング周期】と【温度湿度】の表示が交互に点滅します

予約測定の場合スタートメニューの下記ボタンをクリック



指定したい日時を入力します。



#### 3 G-MENに振動を加える

G-MENの測定が開始されたので、G-MENを左右に振ったり軽く机にコンコンとたたいたりして2・3分程度計測してください。  
途中静止状態があっても構いません。

#### 4 G-MENの記録データを取得

G-MENを再度USBケーブルと接続してPCとつないでください。  
G-Trace.net上でG-MENの接続されていることを確認してください。  
本体液晶には【CoNNECTd】と表示されます。  
G-MEN本体にレコードされたデータを取得するためにG-Trace.netのスタートメニュー画面の【測定記録データを取得】のボタンをクリックします。  
取得中は下記のように、画面中央にインジケータが出ています。



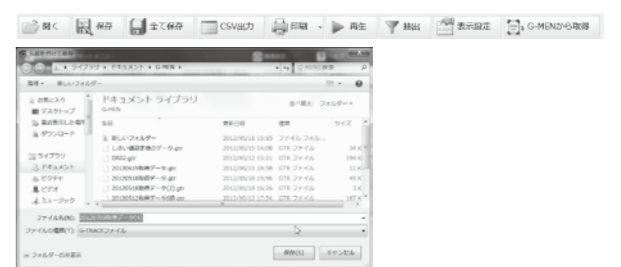
データの読み取りが終了するとデータ表示画面にデータリストとグラフが表示されます。

ステータスバーには、今読み取りをしたG-MENのデータ数・サンプリング周期・記録間隔・しきい値・本体番号・ハザードを表示します。データリストの日付は、スタートした日・記録間隔に準じて表示されているのを確認してください。  
またデータはXYZの3軸と温度・湿度が表示されます。X・Y・Z軸の単位は初期設定ではG値で表示されています。加速度単位を「G・m/sec<sup>2</sup>・Gal」から任意の単位で表示できます。  
合力の計算式は√(X×X)+(Y×Y)+(Z×Z)です。時刻の最小単位は、10msecとなります。ここで取得されたデータは1分間計測していればデータ数は60個になります。  
記録間隔 1秒×記録時間=データ数

\*データ数は記録間隔やしきい値の設定などにより取得数は変わってきます。  
\*日付は設定したPCの時計を見ているので、パソコンの時計が間違っていればG-MENの取得された日付データも間違えになります。

#### 5 G-MEN の取得データを保存

メニューより保存を選択。



測定データ保存ダイアログが表示されます。ファイル名は、自動生成で日付数字がファイル名になりますが、任意で変更ができます。ファイルの保存形式は「\*.gtr」になりG-MEN 専用の形式です。

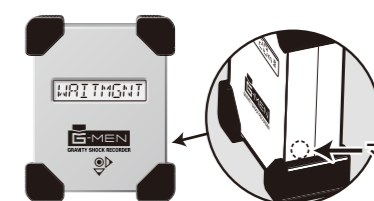
これで 簡単な計測を終わります。

#### 6 G-MENのレンジ変更

G-MEN DR01・DR20は最大測定値変更ができます。(DR100はレンジ変更できません)

機種	工場出荷時	G値と分解能	レンジ変更時G値と分解能
G-MEN DR01	1G	0.01G	2G 0.02G
G-MEN DR20	20G	0.2G	10G 0.1G

#### 7 マグネットスタート(開始オプション1~4)



- ①G-MEN内部に磁気センサがあり、磁気センサが反応するまで数秒(3~5秒)かかることがあります
- ②マグネットはG-MENにくっつきません